

があります。2年の年限で支援が至らず、就職が難しかった利用者の方を就労継続支援B型で受け入れ、就労支援を継続し就職に繋がった事例があります。

久保会長の提言の就労移行II型を就労継続支援B型で行っているイメージです。その他に就労は難しいが働きたい、たくさん工賃を稼ぎたいというニーズもありワークショップ型の支援も行っています。生活介護と就労移行の隙間がかなり大きい現状で就労継続支援B型のニーズは多岐に渡っています。それは港第二育成園に限らずどこの就労継続支援B型事業所も同じだと思います。様々なニーズとサービスが混在する今、行政側の枠組みの完成を待つのではなく、事業所側がニーズを整理し明確な事業所の特色を出すことが重要だと感じました。

港第二育成園は『就労を諦めない就労継続支援B型(就労移行II型)』『就労は難しいが働きたい、たくさん工賃を稼ぎたい(ワークショップ型)』の特色を持った事業所で進んでいきたいと考えています。就労移行II型・ワークショップ型の守備範囲には就労していたが様々な理由で離職された方々の受け皿としての機能も今後の課題と考えています。就労への過程はトライアルを繰り返しスモールステップで進んでいきます。就労からのフェードアウトもソフトランディングで進めたいと思っています。

最後に少し残念なご報告になりますが、全国知的障害者関係施設長等会議の開会式に際して主催者の日本知的障害者福祉協会の橘 文也 会長より挨拶があり、挨拶の中では、先日起きた山口県の大藤園における虐待問題についての内容も触れられました。

同園が福祉協会の会員だったため、関係各所への謝罪の意を述べられ、壇上の役員、厚労省をはじめとする来賓の方々は沈痛な面持ちで会長の挨拶を聴いていました。

しかし、フロアの聴衆側の方はと言うと、席を探してウロウロしている方、待ち合わせの為か携帯電話を手に話をしている方もいました。開場から開演まで1時間近くもありながらこの状態です。初任者の研修ならまだしも、今回は管理者クラスが出そろっての研修でこのありさまで。我々はより一層、襟を正す気持ちが必要だと思いました。

大阪市育成会会員だより

《第54回近畿知的障がい者福祉大会について》

・日程：10月11日(日)

・場所：立命館大学びわこ・くさつキャンパス

・内容：

【全体会】

*中央情勢報告

全国手をつなぐ育成会連合会

会長 久保 厚子 氏

*講演会

「障害者権利条約と日本のいま」

～孤立する当事者家族の現実～

立命館大学 特別任用教授 峰島 厚 氏

*シンポジウム

「私たちのめざすもの」

～命を生活を守るために これからを考える～

【本人大会(1)】

「でかけよう会」・・・ 観光船で琵琶湖クルーズ

【本人大会(2)】 (4つの会から選びます)

「話そう会」・・・ サイコロトーク茶話会

「歌おう会」・・・ カラオケ満喫

「楽しもう会」・・・ 生演奏を楽しもう

「観よう会」・・・ ビデオ鑑賞

・参加料(資料、弁当代含む)：

【全体会】 2,000円

【本人大会(1)】 3,000円

【本人大会(2)】 2,000円

・申込締切：8月20日(木) 事務局まで

《レクリエーション(本人活動支援)について》

ボウリング教室

・日時：8月22日(土) 13:00~14:30

・場所：桜橋ボウル

・定員：20名

・参加費：1,000円(貸靴代含む)

・申込締切：8月20日(木) (定員になり次第締切)

サロン

・日時：8月30日(日) 10:00~12:00

・場所：メープル 5階ホール

・定員：20名

・参加費：300円(お茶代含む)

・申込締切：8月27日(木) (定員になり次第締切)

《勉強会のお知らせ》

8月は休会します

《8月部会等日程案内》

部会名	日時	会議室
支部連絡会	8月20日(木) 13:00	301